

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	スポーツの裾野の拡大				予算施策コード	sb03
担当部局名	観光スポーツ文化部 スポーツ局	地域スポーツ課	評価責任者	課長 吉田 孝	連絡先	5470

1 施策の内容

施策の目標	障がい者スポーツや高齢者スポーツの振興に向けた取組みを実施することにより、県民のスポーツへの関心を高め、スポーツによる心身の健康増進や社会参加を通じた共生社会の実現を目指す。
これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者スポーツを通じた交流の場の提供(愛媛県障がい者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手団派遣、eスポーツイベントの開催) ○地域における障がい者スポーツ環境の整備(県障がい者スポーツ協会運営事業費の補助、障がい者スポーツ指導員養成) ○地域への障がい者スポーツの普及(障がい者スポーツ講習の実施、障がい者スポーツ地域コーディネーター・タンデムアドバイザーの設置、障がい者サイクリング体験会の開催、eスポーツスタートアップモデル施設への支援) ○障がい者スポーツの競技力向上(障がい者スポーツ競技団体の育成・強化支援、中四国ブロック予選会出場補助、パラスポーツコーディネーターの設置) ○地域への高齢者スポーツの普及(シニアサイクリング体験会の開催、シニアサイクリスト向けSNSの活用促進)

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	愛媛県障がい者スポーツ大会への参加人数	B	障がい者スポーツ地域振興支援回数						
選択理由	同大会は本県の障がい者スポーツのメインイベントであり、共生社会実現に向けた指標として、客観的に把握できる数字であるため	選択理由	障がい者スポーツの裾野拡大を図る取組みとして、客観的に把握できる数字であるため						
算定方法	愛媛県障がい者スポーツ大会への参加人数(選手のみ)を算出したもの	算定方法	地域コーディネーターの体験交流会等の実施回数を合算して算出したもの						
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			回			千円					
元年度	2300	1885	82.0%	144	188	130.6%	75,880	6,826	64,954	4,100		17,697
2年度	2300	—	—	144	79	54.9%	98,177	23,078	73,529	1,570	45,812	35,184
3年度	250			144			56,980	8,936	44,974	3,070	36,171	25,410
4年度 目標値	250			144			93,627	11,143	78,098	4,386		
最終目標	2300			144								

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	スポーツは、障がい者や高齢者にとって、体力の維持・増強のみならず、仲間や健常者、幅広い年代の人との交流等を通じた生きがいづくりのための重要なルートであるが、スポーツの実施に当たっては、一般の人と比べ、ソフト・ハード両面のサポートを要する機会が多いことから、県が主導してニーズに応じた支援を行う必要がある。				
高い							
成果指標A		説明	障がい者の競技等を通じたスポーツの魅力体験及び県民の障がい者に対する理解を図り、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として、年に1回、県内の障がい者を対象に、全国障害者スポーツ大会の正式競技を実施する愛媛県障がい者スポーツ大会を開催している。本大会は、県内の障がい者だけでなく、競技団体の協力のほか、多くのスタッフやボランティアなどにも参加いただき、障がい者と健常者の交流が可能な一大イベントとなっていることから、今後も継続して開催する必要がある。 令和3年度は新型コロナの状況を踏まえ、一部競技のみ開催した。2年に渡って新型コロナの影響により、気軽にスポーツを実施できない期間が長くなり、障がい者のスポーツ離れが憂慮されていることから、参加者数を元の水準に戻していくための取組みが必要である。 実施競技の追加等もあり、参加人数が増加する余地はある。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	障がい者スポーツの裾野拡大のためには、地域で障がい者スポーツを楽しめる環境整備が必要であることから、東予・中予・南予に障がい者スポーツコーディネーターを設置し、各地域における障がい者スポーツ活動を促進する事業を平成30度から実施している。令和2年度及び3年度は新型コロナの影響により活動が制限されたが、着実に成果が積み上がっており、県内各地にこまなく障がい者スポーツを普及するため、今後も継続的に事業を実施する必要がある。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.40	順調・向上	成果向上余地	2.00	大幅な成果向上が可能	

今後予測される環境変化	えひめ大会の開催から年数が経過したほか、東京パラリンピックの開催により高まった障がい者スポーツへの機運を逃すことなく効果的に幅広い地域へ普及させるためにも、行政が積極的にパラスポーツの普及支援や競技力の向上に関与していく必要がある。
-------------	--

3 施策の今後の方向性

<p>新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、感染拡大状況等を踏まえ、規模を縮小し対策を万全に行った上でのスポーツイベントの開催やオンラインを活用したeスポーツによる交流など、できる範囲でスポーツを継続するための取組みを行っていく。</p> <p>そして、ポストコロナを見据えて、再度スポーツ立県えひめの実現のため、幅広い年代や性別、障がいの垣根のない交流から、競技力向上に主眼をおいた取組みまで、総合的な支援を行うこととする。</p>

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名					s b 03 スポーツの裾野の拡大				
1	障がい者スポーツ振興事業費			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	375	375	375	375	375	事業費計	27,749	40,999	9,404	44,476	評価	令和3年度は、新型コロナの影響により、本事業の活動が制限され、スポーツ講習活動やえひめパラスポ記録会の一部競技は中止となったが、コロナ前は目標を上回る人数が講習に参加している。		
	成果	+	70	障がい者スポーツ講習参加者数	人	実績	421	132	173	国費	3,272	10,852	4,335	10,816					
						達成率	112.27%	35.20%	46.13%	その他	24,477	30,147	5,069	33,660					
						計画	7	8	8	県費									
	指標種類2	指標名称2		単位	計画	7	8	8	8	8	事業費計	22,955	3,608	4,253	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3 令和3年度と同様、令和4年度も引き続き、県障がい者スポーツ大会は休止することとし、人数等規模を縮小した全国障害者スポーツ大会の選考記録会を開催するほか、秋には障がい者の誰もが参加可能なスポーツイベントの開催を実施する。			
	活動	+	70	県障がい者スポーツ大会実施競技数	競技	実績	7	1	3	国費	3,272	1,799	1,813						
						達成率	100.00%	12.50%	37.50%	その他	19,683	1,809	2,440						
						計画				県費									
	指標種類3	指標名称3		単位	計画						人役	1.8	1.8	1.8					
					実績					人件費	12,251	12,179	10,890						
					達成率	-	-	-	-	事業の概要									
実施期間	初期	終期	障がい者の心理的、理学的リハビリテーションの振興及び社会参加促進のため、愛媛県障がい者スポーツ大会の開催や全国障害者スポーツ大会への選手団派遣をするほか、障がい者スポーツを通じた健康増進、指導者確保の取組みを実施する。																
2	障がい者スポーツ選手育成・強化事業費			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	32	32	32	-	32	事業費計	22,692	22,729	11,407	0	評価	台風や新型コロナの影響により、3年連続で全国大会は実施されていないが、直近の福井大会では目標を上回るメダル数を獲得しており、成果は順調である。		
	成果	+	70	全国障害者スポーツ大会メダル獲得数	個	実績	-	-	-	国費									
						達成率	-	-	-	その他	22,692	22,729	11,407						
						計画	19	19	20	県費									
	指標種類2	指標名称2		単位	計画	19	19	20	-	20	事業費計	20,160	15,601	4,674	見直し方向性	方向1 見直し（拡大・縮小・執行方法の改善等） 方向2 効率性改善 方向3 成果向上 令和4年度より、事業効率の観点から、障がい者スポーツ総合支援事業への組替えを実施。（障がい者スポーツパワーアップ支援事業費補助金及び全国障害者スポーツ大会中・四国予選会出場費補助金の総合支援事業への移行）			
	活動	+	70	障がい者スポーツパワーアップ支援事業費補助金交付団体数	団体	実績	19	17	19	国費				4,674					
						達成率	100.00%	89.47%	95.00%	その他	20,160	15,601	4,674						
						計画				県費									
	指標種類3	指標名称3		単位	計画						人役	0.5	0.5	0.5					
					実績					人件費	3,403	3,383	3,025						
					達成率	-	-	-	-	事業の概要									
実施期間	初期	終期	令和4年度から、事業効率の観点から、障がい者スポーツ総合支援事業への組替えを実施。（えひめ大会の開催を契機に発掘・結成・強化された本県の障がい者スポーツ選手及び団体チームに対し、大会後も持続可能な活動の実施や競技力の向上ができるよう強化練習や遠征費等を補助する。）																
3	障がい者スポーツ総合支援事業費			指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	300	300	300	500	500	事業費計	9,921	12,383	23,671	35,342	評価	令和2年度に続き、令和3年度も新型コロナの影響により活動が制限されたが、事業開始以来、障がい者スポーツ地域コーディネーター等の活動により、障がい者スポーツが地域に根付いており、活動への参加人数も順調に推移している。		
	成果	+	70	地域コーディネーターが合同で実施した競技会への参加人数	人	実績	603	115	250	国費									
						達成率	201.00%	38.33%	83.33%	その他	9,921	12,383	23,671	35,342					
						計画	3	3	3	3	県費								
	指標種類2	指標名称2		単位	計画	3	3	3	3	3	事業費計	7,160	7,617	17,286	見直し方向性	方向1 見直し（拡大・縮小・執行方法の改善等） 方向2 目的妥当性改善 方向3 成果向上 令和4年度より、目的妥当性の観点から、事業の組替えを実施。（障がい者スポーツパワーアップ支援事業費補助金、全国障害者スポーツ大会中・四国ブロック予選会出場費補助金及びパラアスリート支援事業費補助金の組み込み）			
	活動	+	70	地域コーディネーターが合同で実施した競技会実施回数	回	実績	8	3	4	国費				17,286					
						達成率	266.67%	100.00%	133.33%	その他	7,160	7,617	17,286						
						計画				県費									
	指標種類3	指標名称3		単位	計画						人役	0.5	0.5	0.5					
					実績					人件費	3,403	3,383	3,025						
					達成率	-	-	-	-	事業の概要									
実施期間	初期	終期	えひめ大会後も障がい者スポーツの灯をともし続けるため、障がい者スポーツ地域コーディネーターの地域への普及活動支援、県内障がい者スポーツ競技団体やパラアスリートの競技力向上に対する支援など、本県の障がい者スポーツの振興を総合的に支援する。																

4 バラ・シニアサイクル推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			単位	計画		100	100	100	100	事業費計	0	6,282	6,282	5,647	評価	新型コロナウイルスの影響により、障がい者サイクリング大会を1回実施しかできなかったが、シニアサイクリング体験会を開催することができ、成果は順調である。								
成果	+	70-	障がい者サイクリング体験会の障がい者の参加人数	人	実績		0	38		予算	国費		3,101	3,101											
					達成率		0.00%	38.00%			その他		1,611	1,611	1,588										
指標種類2	指標名称2			単位	計画		30	30	30	事業費計	0	4,652	4,479	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3										
成果	+	70-	シニアサイクリング体験会の参加人数	人	実績		24	30		決算	国費		2,325												
					達成率		80.00%	100.00%			その他		928									766			
指標種類3	指標名称3			単位	計画		36	36	36	事業費計															
活動	+	70-	タンデムアドバイザーの活動回数	回	実績		29	11		人役			0.4									0.4			
					達成率		80.56%	30.56%			人件費		2,707									2,420			
実施 期間	初期	終期	事業の概要																						
	R2	R4	スポーツのインクルーシブ化が進む中、年齢や性別、身体能力、障がいの有無にかかわらず、スポーツを楽しむ環境整備が必要となっていることから、障がい者及びシニア層に重点をおき、運動能力等に合わせて楽しめるサイクリング普及の取組みを実施する。																						

5 eスポーツステップアップ事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画		30	50	50	50	事業費計	0	6,659	6,216	6,966	評価	eスポーツは、コロナ禍でもオンラインにより比較的安全に実施できることから、想定以上の施設をモデル施設として認定したほか、モデル施設の障がい者の活躍が大きく取り上げられるなど、一定の成果を得ており、今後も地域の障がい者への普及が見込まれる。							
成果	+	70-	県主催 eスポーツ大会の障がい者参加人数	人	実績		34	64		予算	国費			1,500	327									
					達成率		113.33%	128.00%			その他		6,659	3,216	6,312									
指標種類2	指標名称2			単位	計画		27	50	50	事業費計	0	6,060	5,479	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3									
活動	+	70-	eスポーツ講習等の実施回数	回	実績		27	42		決算	国費											1,445		
					達成率		100.00%	84.00%			その他		6,060									2,586		
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計														
実施 期間	初期	終期	事業の概要																					
	R2	R4	eスポーツは年齢・性別・障がいの垣根なく実施できることから、共生社会の実現のため、モデル施設となる障がい者施設への機器の貸し出しや講習の実施、だれでも参加できるeスポーツ大会の開催など、障がい者へeスポーツを普及する取組みを実施する。																					

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名

s b03

スポーツの裾野の拡大

1 インクルーシブスポーツ等普及推進事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	1,196
	国費	
	その他	1,196
	県費	